

・磯部温泉周辺整備について

・学校給食における食品ロスについて



清風クラブ
やなぎさわ ひろゆき
柳沢 浩之



詳しい内容は
こちら

磯部温泉は温泉記号発祥の地であり、その石碑は観光スポットになっています。足湯・磯部せんべいに加え、新たに賑わいの創出としてスイーツの店が出店され、花火大会やeスポーツなどのイベントも開催され、多くの観光客が訪れています。温泉地として、観光客が散策し楽しめるために風情ある鉱泉橋や遊歩道などの整備、観光周遊バス「グリーンスローモビリティ※」の導入について質問しました。

食品ロスは、学校給食でも発生しています。学校給食の食品廃棄物の発生等は、食べ残しが最も多く、次に調理残渣となっています。食品ロ

スの削減のために、調理くずや食べ残しなどの食品残渣を回収し、再生利用することが必要です。また、食の大切さを理解し、健康的な食生活を維持するための知識を育むことの大切さについて質問しました。

その他、プラスチックごみの削減について質問しました。



日本最古の温泉記号

※グリーンスローモビリティ…時速20km未満で公道を走行することができる、電気自動車による小さな移動サービス。

・高齢者支援について

・女性支援について

1項目目は、高齢者支援についてです。

2023年の日本の高齢化率は、29.1%と過去最高を更新し2024年に30.1%になると予想されています。安中市の高齢化率は毎年増加傾向にあり、令和6年3月末現在36.8%で、約3人に1人が65歳以上となっています。

高齢者の方が住み慣れた地域で安全に安心して日々の生活を送れるよう、支援の充実は、大変重要であると考えます。

そこで、認知症施策について、高齢者見守り支援について、身寄りがいない高齢者のサポートについて、難聴者にやさしい窓口業務について、

ゴミ出し支援について、それぞれ、質問しました。

2項目目は、女性支援についてです。

本年4月1日に、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されました。困難な問題を抱える女性の人権を尊重し安心して、かつ自立して暮らせる社会の実現に寄与することを目的としています。

施行を機に、更なる支援の拡充を図らなければなりません。

そこで、困難な問題を抱える女性支援について、現状の取り組みや今後の支援の拡充について質問しました。



公明党
ながしま ようこ
長嶋 陽子



詳しい内容は
こちら